

🍁🍁🍁🍁 絵本だより 🍁🍁🍁🍁



令和2年11月24日

波島保育園

絵本の貸し出しが始まり、毎日子ども達がどれにしようかと楽しそうに絵本を選んでいきます。あれもみたい、これも見たいとなかなか決まらず待ちくたびれそうになることもあると思いますが、それだけ子ども達が絵本に興味を持ってるという姿なので、どうか決まるまで優しく見守ってあげて下さいね。

朝の楽しい時間

毎朝大きいクラスの子ども達はりす組の部屋で絵本の読み聞かせを楽しんでいます。その絵本をぞう組の子ども達も選んでいます。1冊手に取っては戻し別のを取っては戻しと、1冊1冊時間をかけて選んでいてそれだけぞう組にとって絵本選びの時間が楽しみようです。そして選んでくれた絵本を皆んなで話に集中して静かに見入ったり、絵を見て大笑いしながら楽しい時間を過ごしています。



子どもに絵本を読み聞かせる効果とは？

「絵本の読み聞かせは大切」という効果は次のようにあると言われます。

- 1 親子のコミュニケーションのきっかけになる
- 2 きれいな絵を見て感性が豊かになる
- 3 いろいろな世界に触れることで知的好奇心が刺激される
- 4 場面を想像することで想像力が育つ
- 5 言葉の表現を知ることによって語彙力が育つ



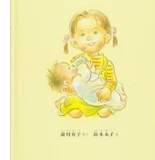
特に4・5は「コミュニケーション能力」を育むためにも大切です。「想像力」は相手の気持ちを想像し理解する力が生まれます。「語彙力」は自分の気持ちをより正しく豊かに表現することが身についてきます。

特に小さいうちは親が絵本や児童書をゆっくり読み聞かせてあげることで、子どもの言葉やコミュニケーション能力を育てることに大きな効果があるそうです。読み聞かせの効果も大事ですが、まずは親子と一緒に絵本を見ながら楽しい時間を過ごすことがいいですね。

😊 私のおすすめ絵本 😊

お母さんが新しい赤ちゃんのお世話で手一杯で、自分の希望を言い出せなくて・・・自分のことは自分で始めるお姉ちゃんの“なっちゃん”“。お姉さんになったことで感じる切なさ、そしてそれを乗り越えることで成長していく子どもの姿を、母親の深い愛情と共に描いています。なっちゃんが「” ちょっとだけ“抱っこして”とお母さんに伝える場面はとても切なく・・・それに対して「” ちょっとだけでいいの？たくさん抱っこしてもいいですか」と答えるお母さん。忙しさの中で忘れてしまいそうな子どもの気持ちを「はっ」と気づかせてくれそうな・・・そんな絵本です。そっとこの本を読んだら「” ちょっとだけ”ではなく「たくさん」抱きしめてあげたくになりますよ。

ちょっとだけ



保育士 育弥さん